第 14 期 会議通訳プロ養成講座 シラバス

プレ・プロフェッショナルレベル

Instructor **千葉絵里/Kenneth Levin**

Date & 2023 年 7 月 7 日（8 日） ～2023 年 12 月 8 日（9 日）予定

Time 米西海岸時間 金 6:30 PM～8:30PM (日本時間 土 10:30 AM～12:30 PM)

約 6 か月間 隔週 2 時間／120 分 全 12 回

※ 日付は米時間と（ ）内に日本時間を表示しています。

※ 米夏時間終了後は、時間調整が必要になります。

Introduction:

プロとして通訳を行っていくための対応力を高めます。特に同時通訳のスキル向上を目指します。プロフェッショナルレベルへの準備コース。

＜対象＞

- アドバンスレベル修了者
- レベルチェックにてアドバンスレベル修了相当と判断された方
- ある程度同時通訳の経験があるものの、事前に原稿の配布がなかったり、動画予習ができなかったりする通訳にまだ自信がない方
- プロフェッショナルレベルの進級を目指す方

Course Objectives:

英日（担当：千葉）

- サイト・トランスレーションを通じ、文法構造の速やかな把握と訳語の練り上げ、そしてそれを通訳に活かすことを学びます。
- 原稿なし・動画予習なしの通訳に対応できるよう、準備の仕方や日々の訓練方法を学びます。
- 原稿なし・動画予習なしの同時通訳に対応できる時間を徐々に伸ばしていきます。学期終了時には原稿なし・動画予習なしで 10～15 分、60%以上同時通訳できることを目指します。

日英（担当：Ken）

- Summarize and paraphrase: 日本語の内容をできるだけ早く把握して要約し、要点を素早く訳出できることを目指します。また、意味を変えずにより易しい英単語を使って聞き手に分かりやすい表現で英訳することを学びます。
- Maximize current into-English interpreting skill: 完全に英語と日本語のバイリンガルではない通訳者は、同じ内容で和訳の 80 パーセントの精度と流暢さの英訳を達成することを目指します。
- Smoother style: 通訳中に考えている時の間をつなぐ際にフィラーを使ったりスピードを上げたり下げたりすることなく、落ち着いた話し方で同時通訳できるようになり、学期終了時には 10 分ほどの J→ E 同時通訳をスムーズに行えることを目指します。

Required Materials:

- PC（Wifi あるいは有線 LAN 接続）
- マイク付ヘッドセット（有線タイプ）
- 筆記用具（ノートパッドとペン）
- 辞書（Weblio https://ejje.weblio.jp/ などのオンライン辞書または電子辞書）
- スマートフォンやボイスレコーダーなど録音/再生可能なデバイス（授業や宿題の内容によって必要）

Required Tools & Benefits:

☐ Zoom アカウント（毎回の授業は Zoom ウェブ会議システムを用いて実施、復習用に録画リンクを配布） https://zoom.us/zoomrooms/software

☐ Slack アカウント（授業関連のコミュニケーション用に使用。例えば、受講生と講師およびプログラムコーディネーターとの業務連絡、スケジュールの確認と調整、ホームワーク出題等）

☐ LINE あるいは Facebook Messenger のアカウント：同時通訳練習時に別回線を確保するために使用する場合があります。

☐ Facebook 非公開グループ「会議通訳トレーニング講座＆ワークショップ」へのアクセス（通訳関連の情報交換、EJ EXPERT からのお知らせ、受講生からの質問や相談などができるコミュニティ）https://www.facebook.com/groups/1370136739737880/

Reference Materials:

☐ 教科書：EJEXPERT 通訳講師チーム著『プロの通訳技術』Vol.1

☐ 参考書：

- ピンカートン 曄子・篠田顕子著『実践 英語スピーチ通訳』（英語のスピーチスタイルとその訳し方への理解を深めることができる）
- 原沢伊都夫著『日本人のための日本語文法入門』（日本語文法の特殊性を理解し、日英通訳の構文を考える上で参考になる）

※ 教科書は受講前に購入して一読しておいてください。

※ 参考書は必ずしも全て購入する必要はありません。各自が必要と思ったら購入してください。

Homework Assignment:

（英日）プレ・プロフェッショナルレベルでは、受講生各自が自分なりの学習習慣を確立していることを期待します。ホームワークは、「授業でのパフォーマンスを振り返り、最適と思う訳出を提出すること」を中心としますが、適宜他の課題を追加します。

（日英）上記に加えて、講座が実施されるより前に、Audacity, SoundEngine などの（無料）音声編集ソフトの使用方法に慣れるようにしてください。

※ホームワークの量や内容は、受講生の通訳経験・学習歴等によって変わります。

End of Term Evaluation:

ターム終了後には講師との個人面談の機会があり、今学期の振り返りを行います。面談では、各スキルの評価、進級レベルの推薦、今後の強化・改善点のアドバイスを行います。

Others:

授業中のパフォーマンスを拝見して、他のクラスで授業を受けたほうがその時点の実力向上により役立つと判断された場合は、他のクラスへの移動をお勧めすることがあります。

Sequence of Topics:

Session	Theme	Main Topic
1	**英日第 1 回（千葉）**	オリエンテーション自己紹介初見逐次通訳/同時通訳（初回アセスメント）
2	**英日第 2 回（千葉）**	サイトラ初見同時通訳：平易で日常的なテーマ
3	**英日第 3 回（千葉）**	サイトラ初見同時通訳：ビジネス/経済/数が頻出するテーマ
4	**英日第 4 回（千葉）**	ノートテーキング初見逐次通訳：長いチャンクを訳すリレー通訳疑似体験
5	**英日第 5 回（千葉）**	サイトラ初見同時通訳：受講生と相談の上決定
6	**英日第6回（千葉）**	初見逐次通訳：長いチャンクを訳す初見同時通訳：スピードの速いスピーチ/訛りのあるスピーチ質疑応答
7	**日英第1回（Ken）**	J→E 初見逐次通訳/同時通訳（初回アセスメント）　発音：強弱リズム、ピッチ／抑揚、リエゾン（単語間のつながり）など英語の発音の最も難しい側面
8	**日英第2回（Ken）**	シャドーイング、字幕読み／字幕サイトラと通訳戦略との関係原稿・動画予習準備済み逐次通訳 vs. 初見逐次通訳
9	**日英第3回（Ken）**	Summarizing and paraphrasing 通訳内容が複雑になる時に用いる要約や言い換えのテクニック
10	**日英第4回（Ken）**	初見同時通訳：ビジネス/経済/数が頻出するテーマ
11	**日英第5回（Ken）**	初見同時通訳：日常的なテーマから難易度が高いテーマまで
12	**日英第6回（Ken）**	授業のまとめ： これまで学習したことの総復習セミナー目標である「要点を素早く訳語すること」、「和訳の 80 パーセントの精度と流暢さの英訳を達成すること」、「10 分ほど J→E 同時通訳をスムーズに行うこと」の達成度確認

※ このシラバスはあくまで標準シラバスであり、受講生の通訳経験・学習歴等によりカスタマイズします。

※ メイントピックの他にウォーミングアップとして初出教材の通訳、数の練習等も行うことがあります。